

スローテンポ通信

第 5 号

2017年5月30日

発行：一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4

☎ 0285-35-2888

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>



文章を書いてみませんか

普段から言いたいことを文章にしてみませんか。言いたいことが正確に伝えられるようにお手伝いします。

1000文字程度の文章を、4回で完成させます。

毎週木曜日午後3時～5時、場所はスローテンポ協会、参加費は1回500円。お問い合わせは当協会まで。



地域を元気にするための

懇話会

毎週水曜日午後3時～5時、スローテンポ協会にて懇話会を開いています。参加費無料、どなたでも参加できます。



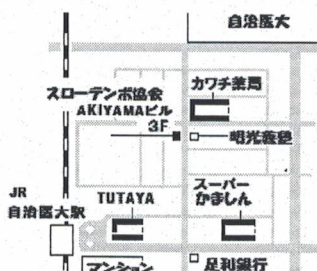
どこにもない変な本屋

小さな出版社の本を専門に扱う小さな本屋です。流れに逆らって、ベストセラーは売らず、売れない本を売ります。夏オープンに向けて準備中！お手伝いできる方を募集しています。

＊

☆ スローテンポ協会への行き方

JR 自治医大駅東口から自治医大方向に徒歩5分。車でお越しの方は前もってお電話ください。駐車場をご案内します。



突然のどしや降りに 人の親切

車でスーパーに出かけたときのことで。買い物を終えて店先の玄関に立つと、外はまるで滝のような雨でした。車まで走る人や、折りたたみ傘を開く人もいの中で、子供連れの母親、老年の夫婦、そして私の3組がロビーに取り残されました。

見知らぬ客同士で、自然に言葉が交わされます。

「しばらく様子を見るしかないね」

「雨が止むまでどれぐらいかかるかしら？」

「ちょっと冷えてきましたね」

そのときでした。

「この傘を使ってください」という声がしました。スーパーの店員が二人で、大きな傘をいくつも持ってきてくれたのです。

立ち往生していた3組は、それぞれ大きな傘を使わせてもらい、店員が客に付いてそれぞれの車まで回り、濡れた傘を回収してくれました。

夕食の支度にも間に合い、ふいに受けた親切がありがたくて、傘を持ってきてくれた店員さんの顔が目には浮かびました。

次の日、このことを職場の同僚に話したら、一人は「小さなスーパーだからできたんだね」と言っていました。私が行ったスーパーは、確かに小規模スーパーです。

さらに、もう一人の同僚は、スーパー側の事情も話してくれました。

その同僚が昔勤務していたスーパーでは、すでに20年ほど前には、お客様のために突然の雨対策をやっていたそうです。

玄関先に傘を置いて「どうぞ使ってください。使い終わったらここへお返しください。」と案内していました。

ところが、突然の雨の後は、用意した傘150本ほどのうち1割ほどしか戻って来ず、いつも補充しなければならなかったそうです。安いビニール傘の

ない時代でしたから、今考えるより大きな負担です。

おまけに近くの駅から「お宅の傘が駅に捨てられている」という苦情が何度も入ったそうです。傘には店名シールが張ってありました。

しばらくしてそのスーパーは、従業員が傘を持ってお客様を駐車場まで送っていくというやり方に変えたとのことでした。

スーパー側の事情があるにせよ、結果的には人と人とのふれあいが増えたのは良いことでしょう。

私が傘体験をしたスーパーには顔なじみの店員さんがいます。私が栃木に引っ越してきた25年前は、下の子がまだ幼稚園でした。

その子を連れて、よくこのスーパーに買い物にでかけていました。その女性店員には、同じような子供がいたので時々話すようになりました。今でも店内で見かけるとお互いの子供の近況などを報告しあいます。

皆さんはスーパーでなにか困ったことはありませんか？商品の置いてある場所が見つからないときや商品のことを聞きたいときに、近くに店員さんがいると助かりますよね。

近頃は、コンビニが人件費削減のために無人化されようとしています。大手の工場では、人を減らしてロボットが働いています。電車に乗れば、みんながスマホに夢中です。

囲碁や将棋までコンピューターにさせちゃったら、人は何に喜びを見つけ出すのでしょうか。本当にこんな世界でいいのだろうか、じっくり、ゆっくり考える必要があると思います。

機械ではなく、人が働き、人が活躍する社会になってほしいものです。

野菜たちは、自然の中で太陽の光や雨、風にさらされるから、おいしい野菜に育ち、自然の恵みとなって台所にとどきます。

人は、人のやさしさの中で育てばやさしい人になり、やさしい人が多くなれば社会もやさしくなるでしょう。

いつか S